

- 創 立 : 1979年1月23日
■例 会 : 毎週火曜日 17:30~18:30
■例 会 場 : 奈良ホテル本館
奈良市高畑町1096番地 電話 (0742) 26-3300
■事 務 所 : 奈良市大宮町6丁目3-7 中室ビル3F
電話 (0742) 33-8583 FAX (0742) 33-8600
hp : <http://www.naraomiya-rc.jp>
E-mail : info@naraomiya-rc.jp
■会長 : 高野 治 ■副会長 : 野崎 隆男 ■幹事 : 鈴木 譲

お客様紹介

・米山奨学生 潘 梓桐 さん

理事会報告 & 会長の挨拶

【高野会長】



本日は会長挨拶ということで、短いお時間をいただいております。

本日の理事会では、いくつかの重要な協議・審議を行いましたので、ご報告いたします。

まず、本年度のメイン事業として取り組んでおります「こども食堂応援事業」についてです。来年3月20日（金・祝）に実施を予定しており、開催日が近づきましたら、チラシを配布いたします。どうぞ今のうちにご予定に入れていただき、多くのご参加をお願い申し上げます。

次に、青少年交換プログラムについてです。次年度も当クラブから奈良女子大学附属中等教育学校3年生の西田隆之助君を派遣予定です。背が高く、しっかりとした立派な少年であり、クラブとしてぜひ応援してまいりたいと思います。

また、11月20日（木）には「北和7クラブ合同例会」が開催されます。通常であれば前後の例会を休会といたしますが、プログラム委員会にて他の例会企画が進行しており、今回は休会できない見込みです。いずれ別日に休会を設ける方向で検討しております。

続いて、12月14日（日）には第2回家族親睦例会を予定しております。今回はUSJへ行きます。親睦活動委員会の皆様が楽しい企画を準備してくださっていますので、ぜひ多くのご参加をお願いいたします。

さらに、ホームクラブ出席の定義について、先輩会員よりご提案をいただきました。特に家族親睦例会などの扱いをどう考えるかといった内容です。本日は時間の都合で結論に至りませんでしたが、引き続き慎重に協議を進めてまいります。

例会プログラム

第13回 10月14日 通算2158回

1. 握手挨拶
2. 開会点鐘
3. ソング
4. 会長挨拶
5. 例会状況報告
6. 委員会報告
7. 幹事報告
8. クラブ討論会
9. 閉会点鐘

例会状況報告

10月7日 通算2157回

・会員数	67名
・出席免除者数	14名
・出席者数	51名
・出席率	83.61%

9月30日 通算2155回 (修正)

・会員数	64名
・出席免除者数	14名
・補填者	20名
・出席率	100%

また、創立50周年に向けたご提言も複数いただきました。現在当クラブは47代、次年度の12月には50代目の会長が決まる見込みです。25周年の際の実績や費用、他クラブの取組なども参考にしながら、どのような形で50周年を迎えるか、調査や意見集約を早めに進める必要があると考えております。今後、具体的な体制づくりについて理事会で検討を続けてまいります。

本日は新たに3名の方がご入会くださいました。私自身、入会当初を思い返しますと、先輩方が温かく声をかけてくださったことが今でも印象に残っています。私は常々、「うちのクラブが素晴らしいのは、上が偉いからだ」と申し上げています。ぜひ先輩会員の皆様には、新入会員の皆さんに積極的にお声がけいただければ幸いです。

以上をもちまして、本日の会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

詳しくは動画をご覧ください。

例会状況報告



【出席委員会】
西本副委員長



【ニコニコ委員会】
浦野副委員長

委員会報告



【国際奉仕委員会 吉田委員長】
・台北国際大会説明会の出席報告
2025年10月4日（土）開催



【職業奉仕委員会 松岡委員長】
・クラブ職業奉仕担当者会議の出席報告
2025年10月5日（日）開催



【社会奉仕委員会 野末委員長】
・「新大宮駅北口ロータリー植栽草引き作業」の参加案内
2025年10月18日（土）草引き作業15:45～16:45 懇親会17:00頃から

委員会報告



- 【国際奉仕委員会 米山・青少年交換 志茂委員長】
・米山月間豆辞典、配布のお知らせと米山特別寄付のお願い



- 【ロータリー財団委員会 水野委員長】
・ポリオ撲滅の募金箱について



- 【会報・雑誌委員会 堀内委員長】
・ロータリーの友、読みどころ発表

米山奨学生奨学金授与

潘 梓桐（ハン シトウ）さん



幹事報告

- ・ポリオ募金箱
- 【配布】
- ・委員会構成表
- ・ロータリーの友10月号
- ・ガバナー月信10月号
- ・風の便り 通刊131号
(メール所有の会員には転送済)
- ・米山特別寄付封筒
- ・米山月間豆辞典
- ・10.18 草引き案内

【回覧】

- ・10.18 草引き出欠
- ・ポリオ募金箱

入会式

本日、3名の方がご入会の日を迎えられました。

【小西 淳文会員】 【古海 美佐会員】 【矢嶋 尚彦会員】

委員会配属について

- ・小西 淳文会員 親睦活動委員会、社会奉仕委員会
- ・古海 美佐会員 ニコニコ委員会、青少年奉仕委員会
- ・矢嶋 尚彦会員 親睦活動委員会、職業奉仕委員会



顧問の委嘱状授与

【野末会員（小西会員）】

【岡会員（古海会員）】

【松岡会員（矢嶋会員）】



米山奨学生卓話

卓話者：潘 梓桐（ハン シトウ）さん



① あいさつ・自己紹介

皆さま、こんばんは。

本日はこのような貴重な機会をいただき、誠にありがとうございます。
私は奈良大学文学部文化財学科の三年生、潘梓桐と申します。

今日の卓話は、大きく四つの部分に分けてお話ししたいと思います。まず、私の故郷である中国山東省済寧市兗州区（さいねい・えんしゅう）についてご紹介します。次に、日本に留学することになったきっかけと、日本での生活についてお話しします。そのあと、私の専門である文化財

学科と仏教美術について簡単にご説明し、最後に将来の計画と目標についてお話しさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします！

② 故郷・山東省済寧市兗州区の紹介

ここからは、私の故郷について紹介させていただきます。

まず、中国の山東省についてお話しします。山東省は中国の東部に位置し、歴史のとても長い地域です。たとえば、世界文化遺産にも登録されている「泰山たいざん」は、中国で最も有名な山のひとつです。古代の皇帝たちは泰山で祭祀（さいし）を行い、国家の安泰（あんたい）を祈りました。そのため、泰山は中国文化の象徴のひとつといえます。また、山東省は農業も盛んで、さまざまな果物や野菜が生産されています。りんご、ぶどう、ネギなど、全国に出荷される農産物がたくさんあります。自然が豊かで食べ物がおいしいことも、山東省の大きな魅力です。

次に、私の生まれ育った済寧市についてご紹介します。済寧は「孔子の故郷」として知られており、儒教（じゅきょう）文化の中心的な場所です。孔子や孟子といった思想家たちは、この地域で生まれ、中国だけでなく東アジア全体の文化や思想に大きな影響を与えました。私自身も、子どものころから「仁じん」「礼れい」といった儒教の言葉をよく耳にして育ちました。そして、済寧市の中でも、私の故郷は兗州区です。兗州は歴史的に交通の要所として発展してきました。町の中心には「興隆塔 こうりゅうとう」という古い仏塔があり、地域のシンボルになっています。実はこの塔は、もともとはそれほど有名ではありませんでした。しかし、今から三十年ほど前に、ある出来事がきっかけで全国的に知られるようになりました。ある一人の男性が、「この塔の中には舍利が納められている」と信じて、塔の下にトンネルを掘り、盗み出そうとしました。もちろん、その計画はすぐに警察に発見され、その男性は逮捕されました。その際、実際に舍利が見つかり、ニュースで大きく報道されました。その出来事以来、興隆塔は中国でも有名な存在となったのです。私にとって興隆塔は、子どもの頃によく家族と散歩した懐かしい場所であると同時に、このような少し不思議な歴史を持つ場所でもあります。

さらに、地元の食文化もとても魅力的です。山東省の料理は「魯菜（ろさい）」と呼ばれ、中国八大料理の中でも最も古い歴史を持つ料理のひとつです。そして日本と大きく違う点は、中国では人々が朝食をととても大切にしているということです。兗州で特に有名なのは「粥（おかゆ）」です。ただ、この粥は皆さんが想像するような普通のおかゆとは少し違います。中にお米の粒（こめつぶ）がほとんど見えず、とてもなめらかで、まるでスープのようです。地元では朝食の定番として多くの人に食べられています。私自身も故郷に帰ると、やはりまず地元の朝ごはんを楽しみます。それは兗州の人々にとって、日常の大切な文化の一部なのです。

このように、私の故郷・山東省兗州は、歴史と文化、そして自然に恵まれた、とても魅力的な場所です。私はこの故郷を誇りに思っており、今日は皆さまに少しでもその魅力を感じていただければ嬉しいです。

③ 留學生活について

私が日本に興味を持ったきっかけは、中学生の時に読んだ村上春樹氏の小説でした。物語の中で描かれている日本の街や人々の姿が、とても新鮮で、そこから日本という国に強い関心を持つようになりました。その後、司馬遼太郎の歴史小説を読むようになり、日本の歴史にも惹かれていきました。物語を通して、歴史の人物がどのように生き、考え、そして時代を動かしていったのかを知ることができ、とても面白いと感じました。さらに、中学校を卒業した時に、初めて日本を旅行する機会がありました。その時に実際に目にした日本の風景や文化、人々の優しさに感動し、「いつか日本で勉強してみたい」と強く思うようになりました。

そして、2022年に留学生として日本に来ることができました。最初の一年は京都の日本語学校で勉強しました。京都は日本の古都として有名で、神社やお寺、伝統的な町並みに囲まれた日々は、とても特別な経験でした。特に、京都では伝統的なお祭りや神社仏閣に触れる機会があり、日本文化をより深く理解することができました。現在は奈良で学生生活を送っています。奈良もまた、日本の歴史や文化を深く感じられる場所です。奈良の自然や歴史ある町並みも、古いお寺や仏像に出会うことができ、学んでいる文化財や仏教美術が、自分の生活とつながっていることを実感しています。

日本での生活は、勉強だけでなく、日常の体験一つひとつが大切な学びになっています。スーパーでの買い物、友人との会話、地域の行事への参加など、どれも私にとって新しい発見です。これからもこうした経験を積み重ねながら、日本についてもっと深く理解していきたいと思っています。

④ 専門分野・研究内容

私は現在、奈良大学文学部文化財学科で学んでいます。文化財学科では、歴史的な建物や美術品、考古資料など、人類が残してきた「文化財」を対象に、保存や活用する方法を学びます。私はその中でも、特に仏教美術に関心を持っています。仏教美術は、中国と日本だけでなくインドをはじめとするアジア各地で発展してきました。仏像や壁画、寺院建築など、多様な形で人々の信仰や美意識が表現されています。その魅力は、単なる芸術作品ではなく、人々の信仰や歴史的背景を映し出すものです。私はその魅力を多くの人に伝えたいと思っています。

奈良には東大寺や法隆寺など、世界的に有名な仏教文化財が数多く残されています。授業や調査で実際に仏像を見たり、寺院を訪れたりすると、教科書で学んだ知識が実際の体験と結びつき、より深く理解できるようになります。特に、仏像の表情や衣のひだの表現などを間近に見ると、千年以上前の人々の信仰や祈りを今に感じるすることができます。

また、中国の仏教美術と日本の仏教美術を比較することも、私にとって大変興味深い研究です。両国は地理的にも文化的にもつながりが深く、仏教を通じた交流の歴史があります。共通点を見つけるだけでなく、それぞれの土地で独自に発展した表現を比べることで、新しい発見があります。

⑤ まとめ・将来の目標・感謝

最後に、将来の目標についてお話しします。

私はこれからも文化財学、とくに仏教美術について学び続けたいと思っています。まずは学芸員の資格を取得し、博物館や美術館で働きながら、仏教美術を専門に研究し、その魅力を日本や中国、そして世界の人々に伝えていきたいと思っています。文化を通じた交流は、国と国との理解を深め、平和を築くためにも大切なものです。その橋渡しの一人になればと願っています。また、私は中国出身であり、日本で学ぶ留学生でもあります。その立場を生かして、日本と中国の文化交流の架け橋となることを目指しています。両国は長い歴史の中で、仏教や芸術を通じて深い関わりを持ってきました。現代においても、文化を通じてお互いを理解し合うことは、両国の友情と平和を築く大切な力になると信じています。

ロータリー米山記念奨学金をいただくことができ、大変光栄に思っております。私はこの奨学金の理念を心に刻み、日中両国の友好と交流、そして共通の発展に貢献できる人材を目指したいと考えております。将来、私が日本で働き生活することになっても、中国に戻ることにしても、そのことに関係なく、両国の平和交流のために力を尽くしていきたいと思っております。これまで学んできたこと、そしてこれから学ぶことを生かし、その目標に少しでも近づけるよう努めてまいります。

本日の発表を通じて、少しでも皆さまに私の思いや目標をお伝えできたなら幸いです。最後になりますが、このような卓話を与えてくださったロータリークラブの皆さま、そして日々ご指導くださる先生方、支えてくれる家族や友人に、心から感謝申し上げます。ご清聴、本当にありがとうございました。
詳しくは動画をご覧ください。



ニコニコ箱 合計 83,000円 累計 1,094,000円

高野治君 小西さん、古海さん、矢嶋さん、ご入会おめでとうございます。これからもう宜しくお願いいたします。潘梓桐さん、本日の卓話とても楽しみにしております。

鈴木譲君 小西さん、古海さん、矢嶋さん、ご入会おめでとうございます。奈良大宮の仲間としてお迎えでき、とても嬉しく思います。潘梓桐さん、本日の卓話よろしくをお願いいたします。

野崎隆男君 第1回情報集会が無事におわりました。貴重な意見をありがとうございました。次回11月もよろしくお願いいたします。

岡崎真人君 店のチラシ無断で配りました。10/19にオープンできるかな？宜しく御願いします。

植村將史君 昨日は谷川さんありがとうございました。とても楽しかったです。

谷川千代則君 小西さん、古海さん、矢嶋さん、ご入会おめでとうございます。ロータリー活動楽しんでください。

宮西正伸君 潘梓桐さん、本日の卓話楽しみにしております。

弓場裕史君 本日、米山奨学生卓話 潘梓桐さん、よろしくお願い致します。

ニコニコ協力 植原賢治君 浦野昌彦君 岡利至君 戒田真君 河野里志君
武中洋勝君 中澤昌君 野末勝宏君 福田順君 宮坂勝紀君

◆例会休会・変更のお知らせ◆

<桜井ロータリークラブ>

- ・10月14日（火）休会（定款8条1-Cによる）
 - ・10月21日（火）変更 → 移動夜間例会のため、変更（18:00～、於：大和高田「辻甚」）
- ※ビジター受付は致しません。

<やまとまほろばロータリークラブ>

- ・10月23日（木）移動例会の為 例会場変更 会場：済生会中和病院
 - ・11月6日（木）休会 定款第7条1-d
 - ・11月27日（木）休会 定款第7条1-d
- ※いずれもビジター受付は行いません

<奈良ロータリークラブ>

- ・10月30日（木）休会 定款第7条1-d
- ※ビジター受付は行いません

今後の予定

- ・ 10月21日(木) 卓話 卓話者：(株) Intheory 代表取締役・合同会社Tourism Exchange Japan代表 村木 智裕 様
- ・ 10月28日(火) 休会
- ・ 11月4日 (火) 卓話 卓話者：奈良県知事 山下 真 様
指名委員会